

日本基督教団 西宮公同教会

週 報 2026. No.40

聖日礼拝

2026 年 10 月 4 日（日）午前 10 時 45 分より

司 会：守屋 寛子
当 番：脇本 武憲

前 奏 奏 楽 者
黙 想 一 同
招 詞 マタイによる福音書第 11 章 28-29 節 司会者
主 の 祈 一 同
交 読 文 32 詩 139 篇 一 同
讃 美 歌 30 番 一 同
聖 書 マルコによる福音書第 8 章 1-10 節 司会者
祈 禱 司会者
説 教（私のいま 世界のいま）
「浄化作用」

菅澤 邦明 牧 師

讃 美 歌 333 番 一 同
献 金 一 同
献金感謝 当 番
頌 栄 542 番 一 同
後 奏 奏 楽 者
報 告 司会者

《次週礼拝予告》
聖日礼拝
2026 年 10 月 11 日（日）午前 10 時 45 分より
聖 書：マルコによる福音書第 2 章 1-12 節
説 教（私のいま 世界のいま）
：「絵を描いたのは誰」
菅澤 邦明 牧師
交読文：33 詩 146 篇
讃美歌：90, 217
司 会：二宮百合子 当 番：前田 貞枝

太陽光発電 2026 年 8 月 1 日～31 日 1880.30Kw.
太陽光発電 2026 年 9 月 1 日～30 日 971.00Kw.

《諸 報 告》

【教 会】

◇8 日（木）13 時 30 分より、総合事務局会です。

【教会学校】

◇9 月 26 日（土）は、あいにくの雨でしたが、丹波篠山市後川での「稲刈り」をさせていただきました。すべては、澤村寛文さんの協力、配慮で可能になりました。ありがとうございました。澤村さんは、苗づくりからすべて自前で「無農薬・有機栽培」でお米作りに取り組んでおられます。ザクザクと刈った 1 株の稲の本数は多くはありませんが、本物の稲の香りが嬉しくなりました。そうして、刈られた稲を、足踏み脱穀機で脱穀するところまでが、稲刈り体験でした。昼食には、澤村さんのお米で、澤村さんの取り組んでおられる後川特産の「山椒の実」や「山椒しょうゆ」、また「黒大豆味噌」の味噌汁を用意してくださいました。お土産は、澤村さんの新米（玄米）5kg でした。（澤村さんの無農薬・有機栽培のお米は、通常 1kg1,000 円です）。このお米をご希望の方は、18 日（日）までにお申し込みください。消費税込で、5,500 円になります。
◇こうどうまつり第 2 回実行委員会を、7 日（水）9 時より、行います。それまでに、準備や制作など、皆さんにお手伝いをお願いしたい作業がありましたら、随時ご連絡させていただきます。

《次週礼拝予告》
2026 年 10 月 11 日（日）午前 9 時より
お 話：「え」菅澤 邦明
司 会：金澤 圭子

【地域共同・共生支援活動・事業】

◇「こうどうぶんこ」は、毎週水曜日 15 時～です。
◇「まち食堂」、10 月は、22 日（木）です。12 時から、お食事代 500 円。先着 20 名様です。（ご予約優先）
◇「エイサー隊」の次回練習日は、10 月 14 日（水）18 時～です。エイサー隊の仲間も募集しています。
◇「園芸サークル」
毎週火曜日 10 時～、伏原町の畑にて活動しています。10 月度の「淡路ワーク」は、23 日（金）です。雨の合間をぬうようにして、9 月 25 日（金）は、淡路ワークでした。大量に収穫の予定のはずだったカボチャは、8 月、9 月合わせて、15 個くらいでした。ただ、25 日は、8 月には随分弱っていた「シソ」が、元気を取り戻していて、結果、大量の「穂じそ」を摘むことが出来ました。とっても好評の「しそ味噌」作りを始めています。
◇「アートガレーヂ」
・第 4 回「桂枝雀レコードで聴く落語会」
10 月 16 日（金）14 時～15 時 30 分
「延陽伯（えんようはく）」「高津の富」参加費、無料。
・いとつむぎ（編み物の会）
不定期で水曜日の午後 1 時～3 時ごろまで。毛糸を手しに、のんびり、あみあみ。編みたいものを持って

きて、初めてのの方も大歓迎。おしゃべりしながら、それぞれのペースで楽しんでいます。

【政治・宗教思想研究会／関西神学塾】

◇連続講座
10 月 23 日（金）18 時～20 時
三浦耕吉郎先生
「〈交響する看取り〉のなかで
ーグループホームでの父の臨終の場面からー

◇連続講座
11 月 20 日（金）18 時～20 時
野田正彰先生
いずれも、場所は集会室で、参加費は 500 円です。

【諸集会】

◇本日、礼拝後 12 時過ぎより、津門川川掃除です。

【その他】

◇教会、幼稚園の門の扉のストッパーが新しくなります。描かれているのは、「100 まんびきのねこ」（著・画：ワンダ・ガアグ、訳：石井桃子／福音館書店、1961 年）と、「わたしとあそんで」（著・画：マリー・ホール・エッツ、訳：与田準一／福音館書店、1968 年）です。描いてくださったのは、加藤友里さんです。
◇ウクライナからモルドバに避難をしている子どもたちとお母さんを支援するための募金は、3,890,500 円（10 月 3 日現在）です。「黄色と青色のハトにのるゆっくりくん」の組み木は、107 組が売れ 235,400 円です。合計額は、4,125,900 円です。2025 年 7 月 11 日に 12 回目のモルドバ大使館への 30 万円の送金をしました。今迄に、総額 3,600,000 円を送金させて頂きました。

【募金】

「ペシャワール会」「アハリー・アラブ病院を支援する会」
「東北・関東大地震」「辺野古新基地建設反対」
各 500 円 9 月 27 日分

ペシャワール会	31,000 円
アハリー・アラブ病院	92,000 円
東北・関東大地震	8,000 円
辺野古新基地建設反対	10,000 円
	9 月 27 日現在

【今週の十二使徒】

◇登増（とます）の柵 ◇邊梨保（ふいりぼ）の柵

～明日への祈り～

司馬遼太郎さんは、バブル崩壊後、土地の売り買いでお金を儲け始めて「労働価値」が下がったと言われていました。AI の出現で「考える価値」が下がると言われます。私たちは、雨の音を聞き、風の寒さを感じ、生きものや人のために祈れる人でありますように。
（脇本 武憲）